

ときめき インタビュー



阿炎 政虎 関
あび まさとら / Abi Masatora

…プロフィール…

本名・堀切光助。平成6年5月4日、越谷市生まれ。西方小学校3年生から本格的に相撲をはじめ、大相模中学校・千葉県立流山南高校在学中には全国大会などで上位の成績を残す。高校卒業後、鍛山部屋に入門し、平成25年5月場所に初土俵を踏む。平成29年3月場所で幕下優勝、同年9月場所で十両優勝。平成30年1月場所で新入幕を果たし、10勝5敗の好成績で敢闘賞を受賞。東前頭7枚目。身長187cm、体重140kg、得意技は突き・押し。
*敢闘賞は、三賞の一つ。敢闘精神に富み、全力を尽くした選手等に贈られる賞。

新入幕の1月場所で10勝を挙げ敢闘賞を受賞。大活躍を見せた越谷出身力士の阿炎関は、角界一とも言われる「美しい四股」と、いつもニコニコ愛きょうたつぷりのキャラクターで人気も急上昇中の23歳。その明るくてちゃめっ気あふれる素顔に迫ります。

★ビッグマウスで自分を鼓舞する

新入幕の場所前に「三賞を獲得する！」と公言し、それを見事に実現させた阿炎関。

「私は元々ビッグマウスなんです。目標を言葉にして周りに言うことで、これを現実しなきゃ恥ずかしいぞって自分にプレッシャーをかける。十両優勝したときもそうでしたし、今のところ宣言したことはかなっているんで、言葉の力を信じているんです」

願ったことは必ずかなえるしんの強さを持つ阿炎関ですが、実は力士になりたいと思ったことは一度もなかったそうです。



「勝負は楽しい。勝っても負けても学ぶことが必ずあるから」

度もなかったそうです。

「小学1年生のとき『わんぱく相撲越谷場所』に出場したのが相撲を始めたきっかけですが、それも学校の先生に誘われたから。1年2年と優勝して、3年生で初めて負けたのが悔しくて、次は勝ちたいから相撲を習うことにしたという感じなんです。その後も中学に入ったなら相撲はやめるとか、高校では相撲はやらないとか親に言い続けていて(笑)。高校を卒業するときも地元で就職するつもりで、力士になる気はなかったんですよ」

そんな阿炎関を角界に導いたのは、鍛山親方(元関脇・寺尾)の熱意と、親思いの優しい性格を知

まで、休みが取れると必ず帰省するそうです。

「越谷に着くと、自由だ〜って感じますね。温泉に入った瞬間のアー〜としため息の出る感じが、

★師匠を超える大関に向かって

今年中に三役になる！ というのが阿炎関の目下の目標。常に向上心を持ち続けられるのは、仲がよくてライバルでもある力士仲間が存在が大きいのだそう。

「特に仲がいいのは阿武咲(あぶさき)、貴景勝(たかかげかつ)、大栄翔(おほえいしょう)の3人。阿武咲

★「美しい四股」誕生そして低迷

明るい性格とともに今や阿炎関のトレードマークとなっているのが、足を高く上げて踏む「美しい四股」。この四股が誕生したのは、初土俵から約2年後、初めて十両に上がったころのこと。

「応援してくれている方から、もっと美しい四股を踏んでよ、それで勝つたらご褒美を上げるからと言われたんです。じゃあもう少し足を上げてみるかと試しにやってみたら、ツイッターとか周りの評判がすごくよくて。うれしくなっちゃって今も続けているんですよ」

注目を浴びる関取になった阿炎関ですが、負け越しが2場所続き、1年経たぬうちに幕下に転落してしまっています。

「あのころは毎晩夜遅くまで遊んだらして、相撲なんかどうでもいい！ って態度が出るくらいふてくされていました。そのとき同じ越谷出身の兄弟子・彩関に、親も部屋のみんなんも心配してるのにその態度はなんだ、いい加減しろ！」と思いつつ切り怒られて目が



足を頭より高く上げる美しい四股。阿炎関のトレードマークです



皆さんの応援のおかげで敢闘賞を受賞できました！



「稽古は嫌い」と言いながらも、しっかり朝稽古

はすでに三役ですから、やっぱり負けたくないですね。土俵で勝負するとき、仲がいい力士のほうに燃えるんです。お互いに勝ち負けの数を覚えていて、今は俺が5勝4敗で勝ってるからな！ とか言ってる、刺激合ってます」

匠孝行だと言われたので、絶対かなえたい目標です。横綱？ それは大関になってから考えますよ」思い切りのいい突き押し相撲が持ち味の阿炎関。その素顔は家族や親方、仲間など周囲の人への感謝と優しさにあふれていました。夢に向かって頑張る姿を、これからもずっと応援していきますよ。
*三役は大関・関脇・小結のこと

今年中に絶対「三役」になります！宣言すれば必ずかなうと信じているから。

と思います」

一年半ほど幕下に甘んじたものの、十両に復帰して2場所目で十両優勝を成し遂げます。

★越谷に帰ると家族が全員集合

親孝行のために力士になったほどの阿炎関はとにかく家族が大好き



2月6日、市長を表敬訪問した鍛山親方と阿炎関。市役所ロビーには約1,000人の市民が集まる大人気ぶり

「クワイですね。父の友人で農園をやっている方が毎年部屋にクワイを送ってきてくださるんです。私は野菜嫌いなんですけど、そのクワイで作る素揚げはホクホクしててめっちゃうまいです」と阿炎関。力士として芽が出たのも、縁起物のクワイ効果かも知れません。



大相撲幕内力士

阿炎 政虎 関

「わんぱく相撲越谷場所」には毎年参加。「自分の原点だし、子ども達に会うのが楽しいので」